



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域観光資源や特産物を生かした観光交流拠点の創出

居村 一彦 (いむら かずひこ)

株式会社富士川 代表取締役



○ 登録者情報

所在地

山梨県富士川町

略歴

1997年4月(財)道路施設協会附属研究所衛生管理室長として全国の高速道路サービス施設における食品衛生管理の指導にあたった。

1998年10月(財)ハイウェイ交流センター 横浜支社経理課長として、予算管理、決算、資金出納事務に携わった。

2000年7月(株)パプリス(出向) 総務部次長として、総務、人事、法務全般を担当した。

2003年4月(財)ハイウェイ交流センター 監査室調査役として、組織の内部監査及び財団直営SA、PAの業務監査を担当した。

2006年4月中日本エクス(株)八王子支店副支店長として、中央道管内SA、PAを統括した。

2010年11月中日本エクス(株)東京支店管理リーダー(在静岡)として、東名管内SA、PAの管理業務を担当した。

2012年4月中日本エクス(株)監査室専門役として、営業監査業務の企画立案、監査実施を担当した。

2013年5月(株)富士川代表取締役就任

○ 地域観光資源や特産物を生かした観光交流拠点の創出

取組の内容

【観光拠点としての事業展開】

①観光客の誘致・・・地域観光資源(大柳川溪谷等)をPRするとともに郷土料理「みみ」を提供するつくたべかんへの観光客の誘致を推進している。

②サイクル事業とのコラボ・・・道の駅富士川では、NPO法人やまなしサイクルプロジェクトと協力して、サイクリストの聖地として山梨の自転車の拠点となる取り組みを推進している。

・サイクルイベント・・・南アルプスロングライド、シクロクロス富士川

・通年事業・・・レンタサイクル(16台のスポーツバイク)の実施、サイクルブースの常設

③地元産農産物の売上拡大・・・出荷者会議等を通じ品質の良い新鮮な農産物の提供に努め、朝市など売上拡大を推進している。また、売上数をメール配信し売切れ防止に努めている。

④地元特産品の販売促進・・・地元特産のゆずを使用したオリジナル商品の開発、販売促進

⑤各種イベントの開催・・・独自イベントの実施、協賛イベントへの協力

・独自イベント・・・コンサート(年4回)、周年祭、各種お祭り、グラウンドゴルフ大会、朝市等

・協賛イベント・・・サイクルイベント、車、バイクミーティング等

実績

道の駅富士川の利用者数の推移は下記のとおりです。

平成26年度 利用者数 23万人 平成26年7月8日運営開始

平成27年度 利用者数 34万人

平成28年度 利用者数 38万人

平成29年度 利用者数 38万人

工夫した点や苦勞した点

町のプラットホームとして、地元住民に親しまれるとともに県外から訪れるお客さまにも感動してもらう道の駅をめざし、新しいイベント等、集客策の策定、新商品の入れ替え、品質のよい農産物の確保等店舗の付加価値を高め、いかに再来店のお客さまを増やしていくかに腐心した。

ひとことPR

道の駅富士川は、中部横断道増穂PA(下)からも利用できるハイウェイ・オアシスです。

ロードバイクなどレンタサイクルを16台常備し、町内の周遊観光に役立っています。

近くの大柳川溪谷は遊歩道が整備され、新緑や紅葉の季節に見る溪谷美は圧巻です。

溪谷を散策した後は、「つくたべかん」の郷土料理「みみ」が好評です。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

道の駅富士川	www.michinoeki-fujikawa.jp/
--------	--

連絡先

メールアドレス	info[アットマーク]michinoeki-fujikawa.jp	その他	
---------	------------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。